

## バンドの取り扱いについて

### 【メッシュベルトのサイズ調整】

小さなマイナスドライバー(又は同じようなもの)を図1のようく留め具の穴に差し込み、留め金をもち上げます。その後留め具をスライドさせ(図2)、お好みの位置でベルト裏側の溝と金具の溝を合わせた状態で指で押さえます。押し上げた時と同様にドライバーを穴に差し込み、てこの原理で押し戻します。(図3)

※溝にしっかりとまつっていない場合や、上記以外の方法で無理に押しますと破損する恐れがございますのでご注意ください。

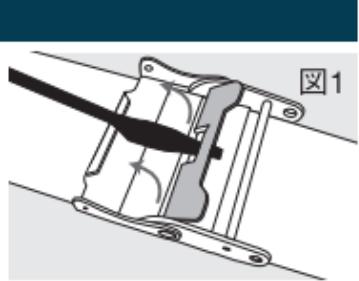


図1

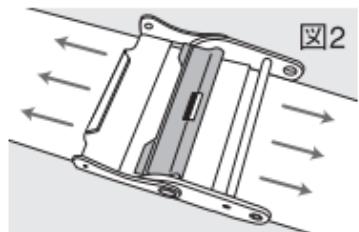


図2

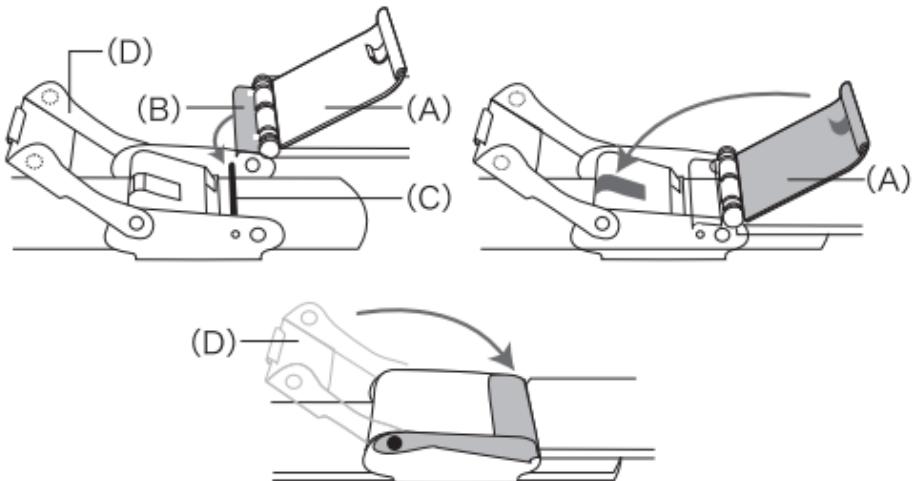


図3

### 【メッシュベルトの留め具のつけ方】

12時側の金具(A)裏側にあるフック(B)を留め具の内側の棒(C)にかけます。(図1)※B・Cをきちんと引っ掛けないと落下や破損の原因になります。

棒にかけたら金具(A)をかぶせます。金具をかぶせると裏側のフックが重なり固定されます。その後反対側の安全金具(D)をかぶせ、完了です。

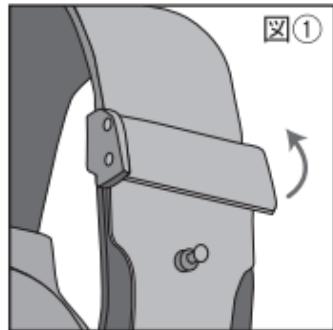


## 【D バックルモデル ベルトのサイズ調整方法】

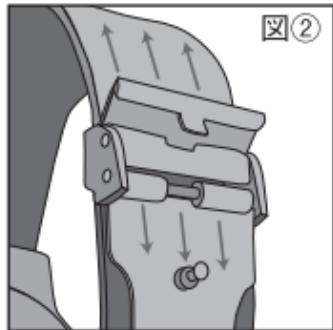
指で図①の留め金をもち上げます。その後留め具をスライドさせ（図②）、お好みの位置でベルト裏側の溝と金具の溝を合わせた状態でカチッと音がなるまで押し戻します。

※溝にしっかりとはまっていない状態で無理に押し戻しますと破損する恐れがございますのでご注意ください。

※誤った使用・不注意による破損は保証の対象外となりますのでご注意ください。



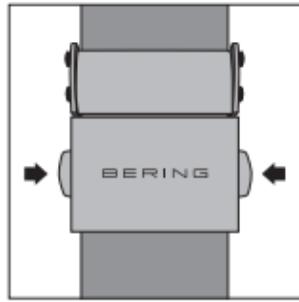
図①



図②

## 【ベルトの着け外し方】

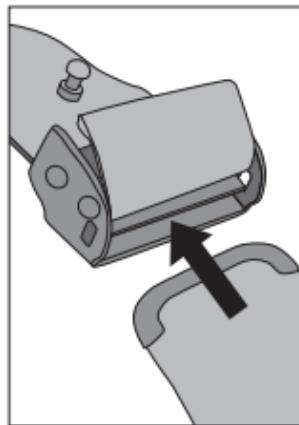
ベルトを取り外す際は、プッシュボタンを押して、着脱してください。取り付ける際はカチッとなるまで押し込んでください。



## 【ベルト挿入位置】

ベルトがバックルから抜けてしまった場合には、図の挿入位置を参考に、一番下の隙間にベルト先端が入るように挿入してください。

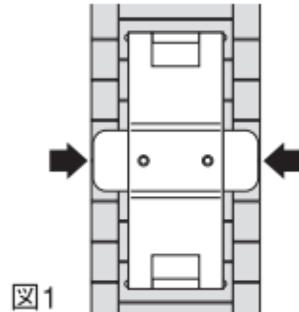
センタープレートより上に挿入してしまうとベルトの破損に繋がる恐れがございます。



### 【リンクベルトの取り扱いについて】

プッシュボタン式のリンクベルトの留め具を外す際、また留める際にも、必ずプッシュボタン(図1)を押して、着脱してください。プッシュボタンを押さずに留め具を留めますと、故障の原因となります。誤った使用・不注意による破損は保証の対象外となりますのでご注意ください。

※サイズ調整に関しましては専用の工具が必要となります。調整をご希望される場合は、ご購入店、またはお近くの時計店へご依頼ください。



### 【レザーベルトの取り扱いについて】

レザーベルトは水分を含むと色落ちしたり変化する場合があります。またレザーが硬化し亀裂しやすくなりますのでご使用後は柔らかい布等で拭くことをお勧めいたします。ご使用により発生した変色や劣化、キズ等の外見の変化は保証対象外となりますのでご注意ください。衣服等への色の付着は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。